

- ★ いずれの品種も生育の進みは平年並み！
- ★ 今後の気温はかなり高い予報！湛水管理の徹底を！

## 1 君津地域の生育概況

7月1日から13日までの平均気温は平年並みで推移しました。7月14日以降は気温がやや高い～高い日が続いています。降水量は、7月初週の台風以降少なく推移しています。関東甲信地方は7月20日に梅雨明けとなり、今後の気温はかなり高いと予想されています。

各品種の出穂期は昨年ほどの前倒しはなく、平年並みで推移しています。高温障害による白未熟粒の発生を抑えるため、出穂期後2週間程度は湛水管理に努め、落水は出穂期後25日以降としてください。

## 2 生育調査ほの調査結果※

（調査日は「ふさおとめ」・「ふさこがね」は7月21日、「コシヒカリ」は7月27日）

| 品種              |       | 田植え日 | 稈長<br>(cm) | 穂長<br>(cm) | 穂数<br>(本/株) | 穂数<br>(本/㎡) | 単葉<br>葉色 |
|-----------------|-------|------|------------|------------|-------------|-------------|----------|
| ふさおとめ<br>(袖ヶ浦市) | R8年   | 4/20 | 82.0       | 18.6       | 30.0        | 456.0       | 37.3     |
|                 | 過去平均値 | 4/19 | 79.7       | 17.8       | 27.0        | 421.9       | 32.5     |
|                 | 過去平均比 | +1日  | 103%       | 104%       | 111%        | 108%        | 115%     |
| ふさこがね<br>(木更津市) | R8年   | 4/19 | 85.1       | 19.0       | 28.8        | 444.1       | 44.0     |
|                 | 過去平均値 | 4/20 | 75.3       | 19.6       | 22.1        | 336.0       | 42.0     |
|                 | 過去平均比 | -1日  | 113%       | 97%        | 130%        | 132%        | 105%     |
| コシヒカリ<br>(君津市)  | R8年   | 4/25 | 85.5       | 18.4       | 23.9        | 356.1       | 30.6     |

※過去平均値について

ふさおとめは令和3～7年の平均、ふさこがねは令和6～7年の平均です。コシヒカリは本年度から調査地点を変更しているため、本年のデータのみの記載となります。

※粒すけの調査ほ場は出穂していないため、今回は省略しています。

※調査地点の植付密度の違いから、株当たり穂数と面積当たり穂数の間で、平年値との関係が異なる場合があります。過去平均値との生育差は、面積当たり穂数を優先して御参照ください。

－郵便で配信している方へお願い－

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切替えを進めています。変更いただける方は、下記まで御連絡ください。

連絡先 富澤（電話）0438-23-0299 （メール）[k.tmsw3@pref.chiba.lg.jp](mailto:k.tmsw3@pref.chiba.lg.jp)

### 3 これからの管理のポイント

#### ① 斑点米カメムシ類の防除

農林総合研究センターの病害虫発生予報第4報（7月15日）によると、斑点米カメムシ類の発生は「やや多」となっています。薬剤防除は、出穂期と出穂15日後の2回を推奨します。1回しか行わない場合は出穂期に散布しましょう。近年発生が増加しているイネカメムシは、出穂直後の穂を狙って本田に飛来します。

※出穂期とは、ほ場全体で半分程度の穂が出穂した日を指します。

「穂先の先端が一部でも現れたもの」を出穂したと判断します。

#### ② 収穫時期の判断

水稻の収穫時期は、以下の2つの方法で判断ができます。収穫が早すぎると青未熟粒が、遅すぎると胴割れ米等が発生し、収量・品質低下の要因となります。以下を参考に収穫時期を予測し、適期に刈り取るよう努めましょう。

##### ア 出穂期からの日数

水稻は、品種ごとにある程度の登熟日数が決まっています。品種ごとの出穂期から収穫までの日数は、表1のとおりです。ただし、この日数は天候や生育状況等によって変動するため、こちらは目安とし、イの方法で最終判断してください。

表1 品種ごとの収穫まで日数の目安

| 品種    | 出穂期から収穫期までの目安の日数      | (参考) 今年の出穂期<br>(4月20日植え) |
|-------|-----------------------|--------------------------|
| ふさおとめ | 33日前後                 | 7月9日                     |
| ふさこがね | 37日前後                 | 7月10日                    |
| コシヒカリ | 38日前後                 | 7月18日                    |
| 粒すけ   | 38日前後<br>(5月中旬植えは40日) | 7月16日<br>(5/15植え) 8月1日見込 |

##### イ 帯緑色籾歩合

収穫適期の正確な判定は、帯緑色籾歩合で行います(図1)。具体的には、ほ場内で平均的な生育をしている場所から平均的な大きさの株を5株選び、それぞれの株の中で最も大きい穂を確認します。不稔籾を除いて、少しでも緑色が残っている籾(帯緑色籾)の割合が15%の時に収穫期の目安にしましょう。

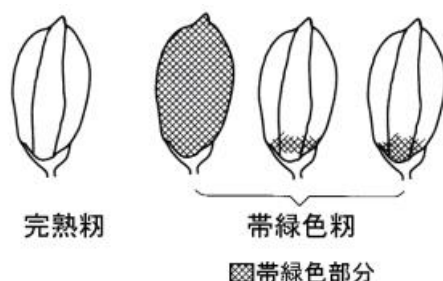


図1 帯緑色籾の見分け方。  
少しでも緑色の部分があれば帯緑色籾として数えます。  
収穫時期には根元付近に帯緑色籾が残るため、  
穂の根元をよく確認しましょう。